



第2回

くまもと国際マンガCAMP in 阿蘇高森



10月28日（月）から11月1日（金）までの5日間、昨年に引き続き、2回目となる「くまもと国際マンガCAMP in 阿蘇高森」が開催されました。

この事業は、「世界から熊本に！熊本から世界へ漫画を発信！熊本をマンガの聖地に！高森を漫画家のシリコンバレーに！」のコンセプトのもと、エンタメ業界と連携して高森町の魅力を世界中に発信し、インバウンドの交流拡大を目的としています。

世界12ヶ国28人のマンガクリエイターが高森町を訪れ、このCAMPを通して、日本の仕事や食文化、子どもたちとの交流などを体験し、また、有名漫画家の先生や編集部から漫画作成にかかる技術やノウハウなど、様々なアドバイスを受け、スキルアップに努めました。

10月28日(月)



左から 草村町長、株式会社コアミックス代表取締役 堀江社長、
熊本県県北広域本部阿蘇地域振興局 田村局長

この日は、休暇村南阿蘇で歓迎のレセプションパーティーが行われました。パーティーの前に、高森町と株式会社コアミックスは「エンターテインメント業界と連携したまちづくりと地域の新産業創出の協同事業実施に関する協定」を締結し、記者会見を行いました。

今後、インバウンドやクリエイターの受け入れ、くまもと国際マンガCAMP、マンガアカデミー構想実現、企業版ふるさと納税制度、マンガや映画等の制作関連業務に関する新産業化などの事業について、協同で実施していきます。



レセプションパーティーに花を添えるのは、昨年に引き続きこのお二人。パーティーを盛り上げていただきました。



世界サイレントマンガオーディションでの上位受賞者に「マスタークラス」の称号が授与されました。



上色見熊座神社神楽保存会が神楽を披露され、レセプション参加者の皆さんは地域の伝統芸能に見入っていました。



レセプションパーティーの様子。長旅の疲れを感じさせないほどの盛り上がりでした。

10月29日(火)



夕方からはサイレントマンガオーディションの受賞作品を映画化した「エンジェルサイン」の上映が行われました。南阿蘇鉄道も舞台となった映画です。



お昼は、小学生やクリエイター、関係者にグリルド加藤のシェフ加藤さんが作った地産地消ランチがふるまわれ、根子岳をバックにした会場で舌鼓を打っていました。



高森町内の小学校4年生を対象に、漫画教室が行われ、講義後には、クリエイターの方々と英語交流が行われました。小学生は緊張しながらも楽しんでいるようでした。